

# そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)

## 誰ひとり取り残さない地域共生社会へ

綿貫 伸子 (公明党)



録画配信の  
2次元コード

### ◆心の健康づくりを強化して

コロナ禍においては心の健康づくりの推進と自殺予防対策の啓発を今まで以上に力を入れる必要があると考えるが見解は。

**長寿健康部長** コロナ禍において、心の健康づくりの推進は大変重要である。自殺対策を所掌する関係課の窓口で啓発グッズを設置し、市公式ホームページでストレス対処に関する情報などを発信していく。

### ◆困っている人が相談しやすい環境づくりを

トータルサポート推進室の「断らない相談支援」について、電話や対面の他に相談のツールを増やし、相談を受け付ける時間を広げられないか。

**福祉こども部長** 現在、メールによる相談にも対応している。開庁時間内での対応が困難な方には、平日の時間外に面談を行い、緊急対応が必要な案件は、休日に訪問対応などを実施している。



メールでの  
相談も可能

### ◆若い世代の孤立と困窮

コロナ禍においてヤングケアラーの状況や若い女性の生理の貧困など人の尊厳にかかわるような問題が顕在化しているが、地元の自治体として支援できることは。

**市長** 子ども食堂による地域での助け合いやつながりが広がっており、皆様からの支援と市の支援事業が連携することにより今後の地域社会の課題解決につながるものと考えている。

## コロナ禍での女性の貧困/親切な狭山市に相談して

高橋 ブラクソク美子 (市民派無所属)



録画配信の  
2次元コード

### ◆女性の生活困難者への支援

①現在、女性の自殺が増加していること、女性の実質失業者は昨年12月で90万人を超えていること、住居がなくなり食事すら満足に取れない女性、すなわちホームレス状態の女性が増えていることなどが問題となっている。収入減となった方への支援は。

②コロナ禍における女性の生活困難に対する支援の在り方や現状は。

③生活困難にある女性への生理用品の提供支援は。

**福祉こども部長** ①埼玉県社会福祉協議会による生活福祉資金の貸し付けや生活困窮者自立支援法に基づく住居確保給付金制度、生活保護法に基づく住宅扶助などがある。これらの制度の周知は、市公式ホームページや社会福祉協議会その他のテーマ▶無料低額宿泊所▶生活保護

のホームページに掲載するとともに、トータルサポート推進室、生活福祉課、くらし・しごと支援センターさやまなど、関係機関と連携し支援策を案内している。

②相談支援を行っているトータルサポート推進室職員とひとり親家庭の自立に関する相談を受けていることも支援課の母子・父子自立支援員が連携し、就労支援のほか、生活福祉資金の貸付制度の紹介、フードバンクとの連携による緊急食料支援、失業手当金や傷病手当金の手続支援、年金の受給に関する情報提供などを行っている。なお、令和2年度の実績では142名に対し延べ338回の相談支援を行っている。



困ったときにはこちらで

③今後も社会福祉協議会が生理用品の提供を行うこととしており、市が相談を受けの中で情報提供していく。

## 公共交通空白地帯の解消に向けて!

広山 清志 (公明党)



録画配信の  
2次元コード

### ◆新たな地域公共交通の導入方針は

①デマンド交通導入の優先順位が低い地域の高齢者が多い公営団地などについて、新たな地域公共交通の導入をどう考えるのか。

②茶の花号の今後の検討の方向性とデマンド交通との関係のあり方をどう考えているか。

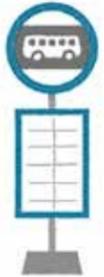
**市民部長** ①機会を捉え該当地域の住民の意見を伺いながら可能な支援について検討していく。②デマンド交通の導入には既存の公共交通との役割分担が重要であり、競合によって減便や撤退を招かないよう、連携が必要である。また、地域の特性により、茶の花号の見直しや、他の交通手法の導入も考え、様々な手法を検討して市内公共交通の最適化を図る。

### ◆新たな地域公共交通の導入方針は

まちづくりとしての公共交通のあり方についての市長の見解は。

**市長** 本市の公共交通は、基幹の鉄道や路線バス、「茶の花号」であり、都市の重要なインフラとして、まちの発展を支えてきたが、人口減少や超高齢化が進行する中では、交通空白地域の解消や利便性の向上に資する「便利な地域公共交通」が必要である。

このため新たな交通手法の確保を施策に掲げ、昨年度、「新たな地域公共交通の導入方針」をまとめ、令和4年度の実証運行に向け準備を進めている。関係事業者と協議を進め、市民の実情や全国の優良事例を参考にし、市民にとって住みやすいまちとなるべく取り組んでいく。



みんなが使いやすい  
公共交通を!

## 入曽駅周辺整備事業について

田中 寿夫 (市民派無所属)



録画配信の  
2次元コード

### ◆入曽駅周辺整備事業は市民要望に合致しているのか

①入曽駅西口を整備するにあたり市営駐輪場が廃止になる。この駐輪場利用者に対し、代替駐輪場の設置が求められるが進捗状況は。

②入曽駅周辺整備事業の実施計画を立てるために、交通量の調査を行っているが、橋上駅舎化と商業施設建設で事業終了後の交通量は大幅に増加するのが目に見えている。旧入間小学校内に整備される市道と県道川越入間線との交差点には信号機が設置できるのか。

③多くの地域住民や卒業生などから、旧入間小学校のシンボルである大ケヤキを、そのまま残置するように求められている。今後どのように保存していく計画なのか。

**都市建設部長** ①代替地については、令和2年度に実施した調査結果を踏まえ、所管である市民部交通防犯課と連携し、入曽駅周辺における自転車駐車場の場所や収容台数など、設置の考え方について検討を行っている。

②新たに整備する区画道路との交差点については、入曽交差点との距離が短く、また、踏切も近接していることから、信号機の設置は難しいとされているが、引き続き警察と協議を行っている。

③入間小学校跡地のケヤキの取扱いは、移植しても根づく保証がないことから、今後は、樹木医の指導の下、現在のケヤキから枝取りを行い、3月頃まで後継木として育て、希望者への配布や植樹などを検討していく。

市民との  
約束は?

ケヤキを残せなかったのか

ここに掲載していませんので、議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313